

事務事業名 不法投棄パトロール事業

政策:02 住みやすい環境と安全なまちづくり

施策:01 生活環境の充実

部名:経済環境部

課名:環境保全課

基本事業:02 美化運動の推進と不法投棄防止対策

計画年度	年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市民				不法投棄パトロールを山武市シルバー人材センターと委託契約を結び、環境美化のためパトロールを依頼するとともに道路上のごみ拾い等を委託している。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
公有地（道路等）の不法投棄を早期に回収することで、市内の環境美化を保つ。								
4 活動指標・成果指標・事業費の推移								
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	連絡調整会議			回	1	2	2	2
活動指標	不法投棄パトロール日数			日	243	242	243	243
成果指標	収集したごみ量（袋数）			袋	6,946	7,058	6,950	6,950
成果指標								
事業費				千円	6,600	6,673	6,519	
				うち一般財源	千円	6,600	6,673	6,519
5 目的妥当性								
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				市内公有地におけるごみや犬猫の死骸回収及びパトロールをする事により、不法投棄防止抑制をしている。				
6 上位の基本事業への貢献度								
● 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				早期ごみ処理回収を行う事により、環境を保つ事ができ、二次投棄を防ぐことができる。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討								
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				不法投棄対策事業であり、対象・意図の見直しはできない。				
8 有効性（成果状況）								
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				現状では特にはないと考えます。				
9 有効性（成果向上余地）								
○ 成果向上余地・大 ○ 成果向上余地・中 ● 成果向上余地・小・無し								
10 事業の再編成								
○ 類似の事業があり、再編成できる ● 類似の事業はあるが、再編成できない ○ 類似の事業はない				不法投棄防止対策事業や環境監視員設置事業があるが、本事業は公有地のごみ回収・不法投棄抑制を狙うものであり再編は出来ない。				
11 効率性（コスト削減の方法）								
○ ある ● ない				現状では特にはないと考えます。				